

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第5回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和8年5月22日（金）・23日（土）の2日間、雫石町南畑において、第5回研修を開催しました。

前半の講義では、「種子と種まき・育苗」「ねぎの栽培」「ズッキーニの栽培」をテーマに学びました。種子や育苗の講義では、裸種子やコーティング種子などの種の種類、発芽に必要な3条件（温度、水分、空気）や種まきの方法のほか、セルトレイを用いた育苗方法や定植する野菜の特性について、指導員から今後の露地栽培の要となる専門知識を集中して学びました。

後半の実習は、実習ほ場において「トマトの管理作業」「ねぎの定植」「ズッキーニの定植」および「栽培野菜の観察」を実施しました。

トマトの管理作業では、多くの受講生が初めてとなる「わき芽かき」に挑戦しました。葉と

わき芽（側枝）の違いを見分けることに苦勞する受講生が多く、習得するためには今後も継続的に作業に取り組む必要があると感じました。

また、ねぎの定植ではチェーンポット苗を使用しました。初めて目にする便利な仕組みに「こんなものあるのか」と驚きの表情を浮かべる受講生も多く、それぞれの作物に適した植え付け方法を学びながら、指導員のアドバイスに耳を傾け、一つひとつの作業に集中して励む姿が印象的でした。

次回の第6回研修は、6月5日（金）・6日（土）に開催します。「栽培管理②」「さつまいも、さといも、にんじんの栽培」についての講義のほか、ほ場では「さといも、さつまいもの植え付け」「にんじんの種」などを実施する予定です。



講義「種子と種まき・育苗」の様子



指導員（右下）からわき芽かきの方法を学ぶ受講生



ねぎのチェーンポット苗を定植する受講生



ズッキーニの苗を定植する受講生